

ドキドキしないのは、

アタシのせい？



オンナゴコロ

Girl with frigidity in Tokyo



前田綾花 大浦龍宇一

田中要次 山本浩司 水橋研二 佐藤二朗

高野八誠 藤川俊生 安藤亮司 高槻純 岡本光太郎 小田井涼平
深水元基 弓削智久 波岡一喜 森岡龍 石田卓也 中村優 Erina 清水若菜
猫ひろし 増田英彦 (まだおかだ) 山里亮太 (南海キャンディーズ)

保阪尚希

監督・脚本: 松田礼人

製作: 山田浩貴、狩野善則 プロデューサー: 永島直記、三城真一

ラインプロデューサー: 鈴木浩介 撮影監督: 金谷宏二 録音: 重松健太郎 美術監督: 桜井陽一

音楽監督: 遠藤浩二 編集: 佐野由里子 キャスティング協力: 辰巳佳太、松永琴

制作協力: ハニーバニー 制作プロダクション: ドリマックステレビジョン 製作: GPミュージアムソフト、Breath

配給宣伝: GPミュージアムソフト、トーピック 配給: Breath、GPミュージアムソフト

©2008GPミュージアムソフト/Breath 2008/日本/カラー/100分/ピスタサイズ/ステレオ



www.onnagokoro-movie.com



毎日、楽しくは、ない。…哀しくも、ない。



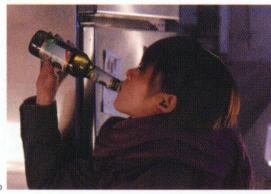
みんなはどう過ごしているのだろう…。樂しいって、何? 感じるって、どんなカンジ? 刺激はどこから

やってくるの? 自分以外の人は、もっと幸せいなの? 愛されるってどういうコト?

日々過ぎていく日常の中、ふと、女友達に取り残されたような気持ちになった事はありませんか? 彼氏が発した、悪気はないんだけど、心ない一言に傷つき、過剰に悩んだ事はありませんか? 自意識過剰なのはわかってる。だけどもっと、もっと、もっと…。それが、オンナゴコロ。

主人公・アコには、『閉じる日』、『Border Line』、『2番目の彼女』等で注目を集め、映画を中心にテレビドラマやCMなど多方面で活躍している前田綾花。不惑症で、生きる意味を貪欲に探し続けるという難しい役どころを、持ち前の実力と特有の空気感で魅せつけ、その美しい肢体を本作で初披露。まさに体

当たりで演じきっている。アコを静かに見守る、ミステリアスなダーツバーのママ・リリーには、多数のドラマや映画で個性的な魅力を發揮する大浦龍宇一。そして、アコの運命を大きく揺さぶるマナブ役に、ベテラン俳優の阪尚希。その他にも田中要次、佐藤二朗、山本浩司等、映画界を代表する名バイブル레이バー達が脇を固め、水橋研二、高野八誠、波岡一喜、弓削智久、石田卓也、深水元基といった注目の若手俳優陣も体当たり出演。さらに、人気お笑い芸人の猫ひろし、増田英彦(まだおかだ)、山里亮太(南海キャンディーズ)等が、物語に異色のスパイクスを加える。監督は、本作で長編映画初のメガホンを執る松田礼人。多数のテレビドラマで実績を積んだその敏腕を活かし、心に残る新たなエンターテインメント作品を描いている。バラエティに富んだキャストで贈る、ちょっと切ない物語が今ここに誕生した。



STORY

刺激のない毎日。ココロの隙

間を埋めるために、男たちとカラダを重ねる。それはただ、虚しさだけが残るだけ…。「なあーんか、つまんねえんだよな、おまえとヤッても」「感じないなら用ないでしょ、俺」Hの後で、アコに最悪な言葉を残して去っていく男たち。そんな彼女はいつしか、全ての感情を封印してしまうのが癖となり、「不惑症」のレッテルを貼られてしまう。本人はきわめてフツーだと思っているのだが…。そんなアコの唯一の楽しみは、ダーツをしている時。刺激と快感を求めて通うダーツバーで、アコはあるゲームを始める。男性客に声をかけ、ダーツに買ったらビールを奢ってもらうのだ。そしてエスカレートするゲームの罠…。買ったら高額のお金を受け取り、負けたら自分を好きなようにしていいと…。そのゲームにはまり、快感に溺れ、やがて感覚が麻痺していく。仕事も辞めて、堕落していくアコ。「私はどこに行きたいのだろう…」彷徨い続けるアコの行き着く先は!?



こうみて…やるきまんまん!

2009年、春レイトショー!

特別鑑賞券発売中! ¥1500(税込)※当日一般¥1800(税込)の処劇場窓口、SHIBUYA TSUTAYAにてお買い上げのお客様に限り、特製缶バッヂをプレゼント!(個数限定)

*本作はプロジェクター上映となります。

渋谷シアター TSUTAYA

東急本店前渋谷シティホテル手前左折すぐ

03(3464) 6277

www.theater-tsutaya.jp/

■全席指定・定員入替制 ■お立ち見及び上映開始後のご入場はできません。

